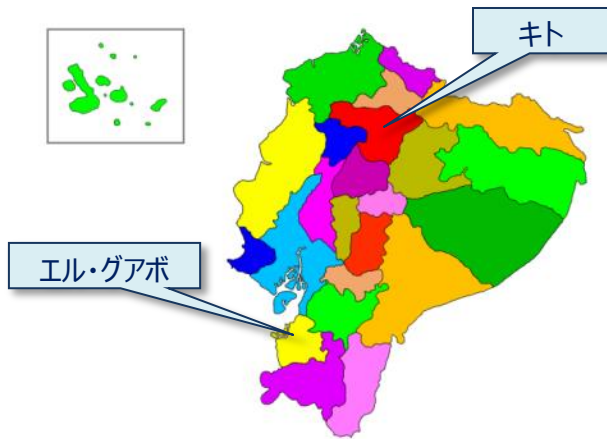


「ラ・イベリア下水処理設備建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ラ・イベリア自治区下水処理設備建設計画」のための、当館とエル・グアボ市による贈与契約署名式が行なわれました。

エル・グアボ市ラ・イベリア自治区は、現在987戸3,709名を有する。エル・グアボ市により整備された下水道は、同自治区中心部より北西約300mに位置する用水路へ直接流出しており、汚臭問題を引き起こしている。また、同用水路はバナナ農園の中を流れており、灌漑用水としても使われているため、汚染問題が深刻である。このため、以前は同水路を利用していたバナナ農家も、品質検査で大腸菌などの検出を恐れ、現在は同水路を使つての灌漑は行っていない。

本計画は、下水処理場を整備することによって、汚臭や用水路の汚水が解消され、用水路の隣接住民及び農家の衛生・生活環境改善に貢献しようとするものです。



供与額: 9,816,056円
贈与契約締結日: 2014年3月12日

計画実施前



署名式

